

“和”食文化推進協議会

平成25年度事業報告

「ごはん食推進フォーラム～世界に誇る、私たちの和食～」出展

[日 時] 平成26年2月26日

[主 催] 農林水産省

[会 場] ザ・リッツ・カールトン東京

[対 象] 量販店、中・外食産業、学校給食等、食の関係事業者等

[来場者数] 226名

[実施概要]

当協議会のキックオフイベントとして、本フォーラムに出展。朝食の条件を満たした『時短和食の朝食献立』の提案を行った。

前掲のとおり、『基本型』とこれを応用した『ワンボール型』、『手巻き型』の3種をモデルメニューとして発表するとともに、実際の調理サンプルを展示した。来場者からは生活のニーズに合った食事の型が必要であるとの共感を得た。

平成26年度事業報告

小学館「女性セブン」掲載

[掲 載 日] 平成26年9月25日

[発行部数] 約40万部

[仕 様] センターカラー8ページ

[対 象] 一般消費者・生活者

[実施概要]

『朝活の第一歩は、和ごはんから！』を訴求テーマに、同誌にて、5食材を活かした和食の朝食メニューを提案した。

メニューは料理研究家の鈴木登紀子氏に10点、分けとく山総料理長の野崎洋光氏に8点考案してもらい、同時に5団体各々の食材の栄養面、健康面での良さを紹介した。当該掲載8ページは別刷りにして、各団体2,000部ずつをそれぞれのイベント等で配布し、改めて和朝食への関心向上を図った。

平成27年度事業報告

WEBサイト「マイナビウーマン」掲載

[掲載期間] 第1期 平成27年9月29日～12月21日 第2期 平成28年2月4日～4月27日

[読者数] 1,000万人／月

[掲載場所] マイナビウーマン内「ライフ」カテゴリー 『簡単にできる和朝食』

[対象] 若い主婦層など

[実施概要]

5食材(米・みそ・卵・納豆・海苔)を使い、栄養バランスのとれた簡単にできる和朝食づくりのコツを2期に分け、長期的な提案を行った。

第1期では、新米主婦でも5食材を使って10分で作れる和朝食を「簡単な時短テクニック」とともに紹介した。第2期では、5食材に「ゆでるだけの常備野菜」を加えることで、栄養バランスアップやバリエーションアップできることを紹介した。

平成28年度事業報告

(1)主婦の友「CHANTO」掲載

[掲載日] 平成29年3月7日(2017年4月号)

[発行部数] 約18万部

[仕様] 見開きカラー2ページ(P.82～83)

[対象] 主に共働き世帯の主婦

(2)WEBサイト「日経DUAL」 ※CHANTO掲載内容の転載

[掲載日] 平成29年3月8日

[読者数] PV:358万人／月 UU:68.5万人／月

[掲載場所] 日経DUAL内「生活・家事」カテゴリー 『栄養たっぷり！10分で作れる“和朝食”』

[対象] 共働き世帯の夫婦

[実施概要]

『栄養たっぷり！10分で完成♪時短で作れる“和朝食”』をテーマにCHANTO誌にて、3食材(米・納豆・海苔)を活用した「一汁二菜」の時短献立3種を提案した。また、その内容を「日経DUAL」へ転載し、長期的な露出を図った。さらに当該2ページに表紙・裏表紙を加えた4ページ構成の別刷り10,000部を製作。それぞれ団体の会員やイベントなどで来場者に配布し、各食材の取り扱いを含めて「時短和朝食」を訴求した。

平成29年度事業報告

(1) 公式WEBサイト公開

[公開日] 平成29年4月4日
[仕様] パソコンおよびスマートフォン対応
[アドレス] <http://wa-shokubunka.com/>

[実施概要]

平成26年度の「女性セブン」出稿を除く、平成25年度から平成28年度事業の成果を再編集し、当協議会の公式WEBサイトとして公開。一年を通じた情報の露出による「簡便な和朝食」の訴求と、当協議会活動のPRを図った。

(2) 「ごはん STICK STOCK」の開発と動画およびリーフレット作成ならびに公式WEBサイトへの掲載

[公開日] 平成30年3月30日 ※公式WEBサイト掲載日
[掲載場所] 公式WEBサイト「かんたん和朝食をつくろう！」カテゴリー「ごはん STICK STOCK」
[対象] 共働き世帯の家族、単身者など

[実施概要]

火を使わずに食べることができる3食材(米・納豆・海苔)の特長(即食性の高さ)を最大限に生かし、子供や高齢者でも「作る、食べる、片づける」が簡単にでき、かつ、実用的な朝食スタイルとして、『ごはん STICK STOCK』を開発。その作り方や食べ方を動画およびリーフレット形式にまとめて共有し、併せて当協議会の公式WEBサイトに掲載した。